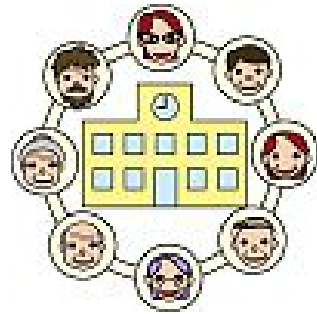


自分さがし

「トライやる・ウィーク」の取り組みスタート！



「トライやる・ウィーク」・・・と聞くと君たちはどんなイメージですか？
きっと、小学校の低学年のとき、中学生のお兄ちゃん・お姉ちゃんが学校に来て一緒に遊んだなあ、という思い出はおぼろげながらあると思います。また、先輩たちを見ていて1週間も学校離れていいな、と安易な感想を持っている人もいると思います。また自分の兄姉や先輩からいろいろな話を聞いてイメージをふくらませている人もいるでしょう。

では、何故まだまだ先の2年生の6月に実施される「トライやる・ウィーク」の取り組みがこんなに早い時期から始まるのか考えてみましょう。

この行事は自分の将来を真剣に考えるため、地域をしっかり知るため、社会の一員になるためには何が必要なのかを学ぶ為にあるのです。

また、みんながお世話になる事業所に保護者・先生・地域の方々などで組織されている「トライやる・ウィーク推進委員会」の人たちでお願いに行かなければならないからです。

このように受け入れてくださる事業所の方の協力はもちろんのこと、その事業所を開拓してくださる多くの人たちがいてくださることを忘れずに、真剣に取り組みを進めてください。

そこで、今日はまず、「トライやる・ウィークの意義」を理解しましょう。その上で、自分が体験したい事業所を探します。友だちに誘われたから、ではなく自分がしたいこと、興味のあることに絞っていきましょう。

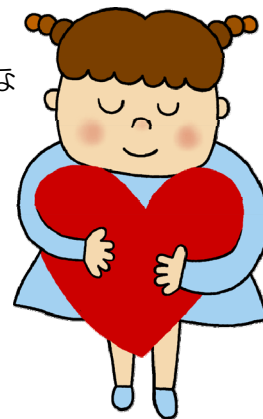
◆ 1. トライやる・ウィークが始まった理由 ◆

トライやる・ウィークは兵庫県で過去に起こった二つの大きな出来事が契機になっています。

1つは、**平成7年1月の阪神・淡路大震災**です。この地震で6434人もの尊い命が奪われました。

近年、大きな災害が立て続けに起こっていますが、この地震で命や人権を尊重する心、ボランティア精神、共に助け合いながら生きていくことの大切さなど多くの教訓をもたらしました。

さらに、**平成9年、神戸市須磨区で世間を震撼させる事件が起こりました。**



この事件により、人間としての在り方、生き方をあらためて考えさせられることになりました。

この2つの大きな出来事を経て「**挑戦する:トライ**」とともに、地域での体験、各事業所の方との関わりなどを通して、豊かな感性や創造力などを自分から高め、自分なりの生き方を見つけることができるように「**学校・家庭・地域社会の三者の連携:トライアングル**」の意味もこめて「トライやる・ウィーク」が始まったのです。

そこで、「トライやる・ウィーク」により、生徒たちに時間的・空間的なゆとりを確保し、地域や自然の中で生徒の主体性を尊重した様々な活動や体験を通して、豊かな感性や創造性などを自ら高めることができるよう支援するなど、「教」より「育」を中心にすえた「心の教育」を確実に推進することがこの事業の趣旨になっています。

◆ 2. 「トライやる・ウィーク」の意義 ◆

- (1) 1週間学校を離れ、自分の住んでいる地域の人たちとふれあい、各事業所の人たちとのふれあいを肌で感じよう。
- (2) 社会の一員としての自分の存在を確かめ、自分自身がやれることを精一杯やり遂げよう。
- (3) 体験学習をとらえて、将来の自分自身の道を考える機会としよう。

◆ 3. 日程・時間・場所 ◆

〔日程〕 2019年 6月3日(月)～ 6月7日(金)

※ただし、定休日などがある事業所は、その日は別の取り組みを行う。

〔時間〕 9:00～15:00 ※事業所によって活動時間は異なる場合がある。

〔場所〕 江井島中学校校区を中心に他地区もある ※去年は50事業所



◆ 4. 今年度中の主な取り組み ◆

○1月24(火) 道徳 「トライやる・ウィーク」オリエンテーション(学年集会)

SHR 県市等関連施設の紹介と申し込み時の注意事項

○2月1日(金) 放課後 県市等関連施設申し込み締め切り

○2月13日(水)～18日(月) 県市等関連施設・・・市内全体の希望者数確定で定員に満たないところは再募集がかかります。江井島中はスキーの日程の関係で15日(金)にお知らせしてもし希望する人は18日(月)の朝に必ず提出してください。

○2月20日(水) 県市等関連施設希望者決定

○3月上旬 一般事業所別予備希望調査

○3月中旬 一般事業所別最終希望調査 → 決定

まずは、今日は県市等関連施設の事業所について流れを説明し希望を聞いていきます。どこでもそうですが、友だちと一緒に、ではなく「一人でも行く」心がまえで希望してください。